

令和5年度 福岡市高速鉄道事業会計予算の概要

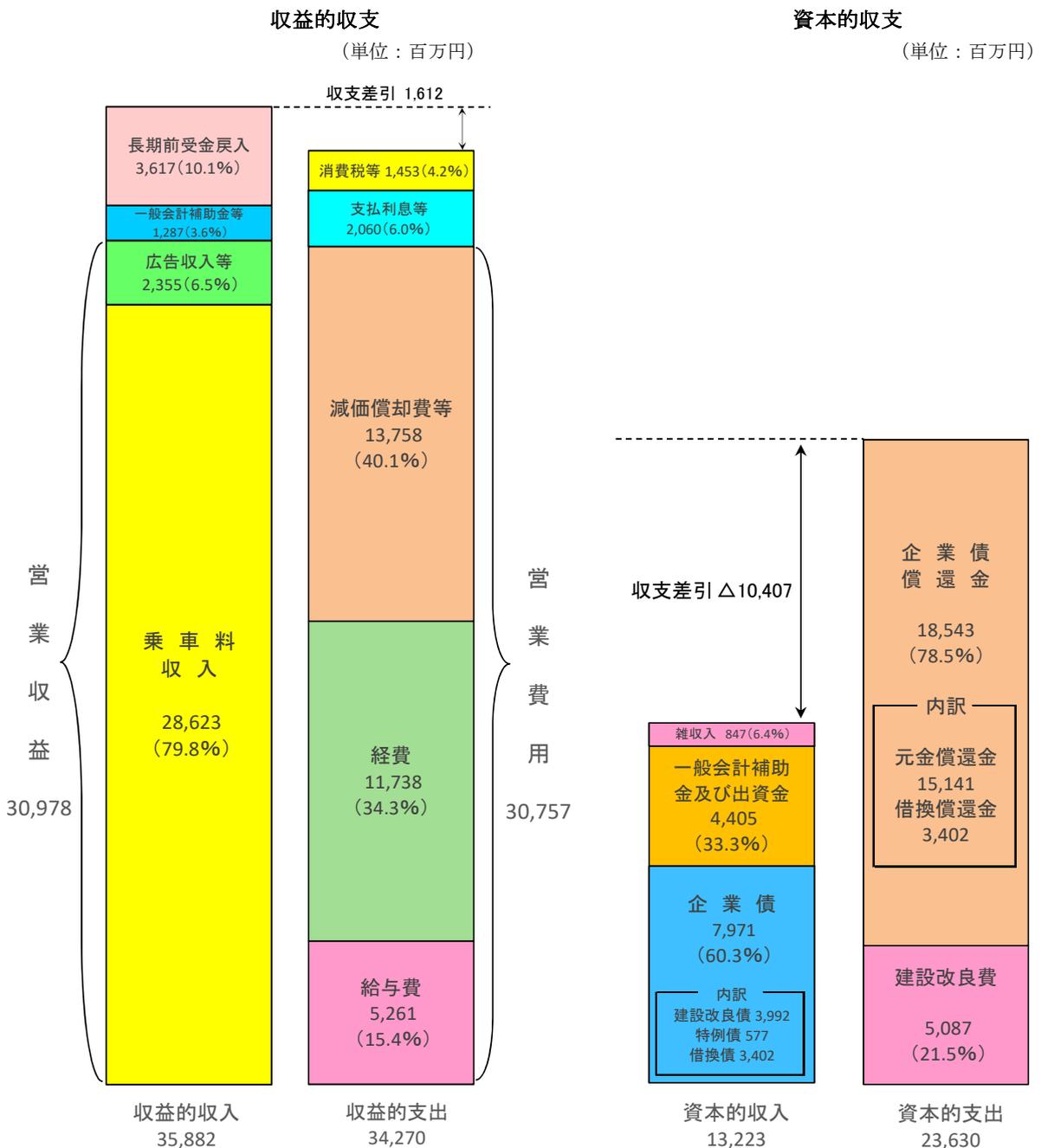
1. 予算

収益的収支	金額
収入	35,882 百万円
支出	34,270 百万円
差引	1,612 百万円
単年度損益 (消費税要素除く)	1,300 百万円

令和4年度末累積損益 △ 110,332百万円
 令和5年度損益 1,300百万円
 令和5年度末累積損益 △ 109,032百万円

資本的収支	金額
収入	13,223 百万円
支出	23,630 百万円
差引	△ 10,407 百万円

※ 減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てん
 令和5年度末累積資金過不足額 △ 2,095 百万円



2. 業務の予定量

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線（1号線）	姪 浜 ～ 福岡 空港	13.1	キロメートル
箱崎線（2号線）	中 洲 川 端 ～ 貝 塚	4.7	キロメートル
七隈線（3号線）	橋 本 ～ 博 多	13.6	キロメートル
計		31.4	キロメートル

(2) 車 両 数 228両 (45編成)

(3) 年間走行キロメートル 19,624,773 キロメートル

(4) 年間輸送人員 149,767,200 人

(5) 一日平均輸送人員 409,200 人

○内訳	5年度	4年度	差引
空港・箱崎線 (a)	301,900 人	286,700 人	15,200 人
七隈線 (b)	107,300 人	67,300 人	40,000 人
全線計 (a) + (b)	409,200 人	354,000 人	55,200 人

3. 主要な建設改良事業

営業線改良事業 事業費 5,087,146 千円

4. 重要施策

(1) 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

ア 施設、車両などの安全性の確保

1,689,807 千円

トンネル等の土木構造物について、長期計画に基づき補修工事を実施するとともに、経年劣化した駅の内外装や七隈線運行管理システムを計画的に改修・更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組む。

また、車両については、2000系車両の大規模改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、安全性や快適性を向上させるとともに、運用開始から約40年が経過した1000N系車両更新のため、新造車両の製作を推進する。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業を推進する。

イ 災害対策などの強化

57,715 千円

局地的な集中豪雨等による浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化するため、駅出入口の経年劣化した止水板の改良を計画的に実施する。

また、駅や車両等における消毒の実施など、新型コロナウイルス感染症対策に継続して取り組む。

(単位：千円)

区分	令和5年度	令和4年度	比較増減	備考
ア 施設、車両などの安全性の確保	1,689,807	2,124,777	△ 434,970	
土木構造物補修工事	216,957	156,310	60,647	トンネル断面修復 等
総事業費:1,977 百万円 (事業期間:令和5年度～令和14年度)				
駅内外装大規模改修	234,562	1,536	233,026	博多駅・中洲川端駅内外装改修工事等
七隈線運行管理システム更新	318,482	434,245	△ 115,763	主要機器の更新 等
総事業費:870 百万円 (事業期間:令和2年度～令和5年度)				
2000系車両大規模改修	253,947	863,159	△ 609,212	車体の補修、主要機器の更新 等
総事業費:2,695 百万円 (事業期間:平成30年度～令和5年度) 実績額:1,577,869 千円				
3000系車両列車制御装置更新	520,036	384,527	135,509	自動列車制御装置・自動列車運転装置の更新 等
総事業費:2,358 百万円 (事業期間:平成30年度～令和7年度) 実績額:889,088 千円				
姪浜車両基地大規模改修	143,000	285,000	△ 142,000	検車庫大規模改修工事
総事業費:1,469 百万円 (事業期間:平成30年度～令和8年度) 実績額:369,835 千円				
1000N系車両更新事業	2,823	-	2,823	新造車両の製作(消耗品の購入)
総事業費:21,176 百万円 (事業期間:令和3年度～令和9年度)				
イ 災害対策等の強化	57,715	95,044	△ 37,329	
浸水対策事業	20,519	35,432	△ 14,913	駅施設の浸水対策改良工事
新型コロナウイルス感染症対策	37,196	59,612	△ 22,416	駅や車両の消毒 等
合計	1,747,522	2,219,821	△ 472,299	

(2) 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

ア 快適・便利な環境づくり

133,866 千円

お客様に安心・快適にご利用いただくため、乗車マナー向上やより安全な乗降の確保に向けた取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善する。

また、2000N系車両及び3000系車両の車内に防犯カメラを設置するとともに、天神駅及び博多駅に防犯カメラを増設するなど、効果的な防犯対策に取り組む。

イ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供

24,602 千円

福岡市を訪れる国内外からのお客様等の利便性向上を図るため、引き続き地下鉄駅コンシェルジュを博多駅に配置するとともに、「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」期間中は福岡空港駅にも配置する。

また、車両等の非常用設備について、設置位置や使用方法等を分かりやすく表示するなど、案内サインの充実に取り組む。

(単位:千円)

区分	令和5年度	令和4年度	比較増減	備考
ア 快適・便利な環境づくり	133,866	239,999	△ 106,133	
乗車マナーの向上	6,550	54,396	△ 47,846	駅ホーム床サイン(七隈線)・エスカレーター注意喚起サインの設置、乗車マナー向上キャンペーン 等
防犯対策の強化	51,338	9,871	41,467	車内防犯カメラの設置、駅防犯カメラの増設 等
より安全な乗降の確保	47,520	139,463	△ 91,943	七隈線車両運転モード改良(扉操作方法の改良)
駅空調の改善	28,458	36,269	△ 7,811	空調設備の改善(七隈線)
イ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供	24,602	50,836	△ 26,234	
インバウンド対策	24,602	50,836	△ 26,234	地下鉄駅コンシェルジュ、案内サインの充実 等
合計	158,468	290,835	△ 132,367	

(3) まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、脱炭素化の推進など環境対策に関する取組みを推進する。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 23,592 千円

博多駅筑紫口において、駅リニューアルの一環として、新たな店舗区画を創出し、お客様にとってより魅力的な店舗の誘致を図る。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 5,346 千円

駅ごとの近隣の街並みや地域の歴史、観光資源等の特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組むことにより、各駅の個性化・活性化を図るとともに、各駅の魅力を効果的に発信する。

また、「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」の気運醸成と地下鉄利用の促進を図るため、車内での案内放送や駅の装飾等を実施する。

ウ 環境対策に関する取組み 118,297 千円

省エネのため、トンネル内の照明や駅構内の電照広告等のLED化を計画的に実施し、使用する電力の削減に取り組む。

また、脱炭素化を推進するため、再生可能エネルギー由来電力を計画的に導入する。

(単位：千円)

区分	令和5年度	令和4年度	比較増減	備考
ア 沿線まちづくりに対応した 駅施設の改良など	23,592	91,722	△ 68,130	
博多駅筑紫口リニューアル 事業	23,592	91,722	△ 68,130	利便施設改良工事
総事業費：244 百万円（事業期間：令和元年度～令和5年度） 実績額：5,321 千円 令和3年度繰越額：120,355 千円				
イ 沿線の地域、イベント、施設 などとの連携	5,346	1,596	3,750	
世界水泳選手権大会との 連携	4,870	1,596	3,274	案内放送、駅装飾、地下鉄駅コンシェル ジュ等(再掲額を含む)
駅の魅力づくり	476	-	476	駅装飾等
ウ 環境対策に関する取組み	118,297	103,435	14,862	
駅照明等のLED化改良工事	113,468	103,435	10,033	トンネル内照明のLED化、電照広告の LED化等
総事業費：1,828 百万円（事業期間：平成23年度～令和13年度） 実績額：1,231,779 千円 令和3年度繰越額：105,298 千円				
再生可能エネルギー由来 電力の導入	4,829	-	4,829	地下鉄用電力への計画的導入
合計	147,235	196,753	△ 49,518	

(4) 経営基盤の強化

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大きな変化や喫緊の課題へ対応するための集中経営改革を推進し、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略の再構築に取り組む。

また、経営基盤を強化するため、マーケティングに基づく戦略的な営業施策の推進、広告・駅ナカ事業収入の確保や未利用資産の有効活用に取り組む。

そのほか、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組む。

ア 経営改革の推進 320 千円

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大きな変化に戦略的かつ迅速に対応し、将来にわたって安定的に事業を継続するため、大幅な減収など喫緊の課題に対応する集中経営改革を推進するとともに、平成31年2月に策定した「福岡市地下鉄経営戦略」について、12年間の基本計画である「長期ビジョン」と4年毎に見直す実施計画である「中期経営計画」への再構築に着手する。

イ 戦略的な営業施策の推進 23,582 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少したお客様の地下鉄利用を促進するため、七隈線延伸開業を契機として、集客施設等との連携や観光資源を活かした周遊コースの開発・情報発信等の戦略的な営業施策を実施するなど、地下鉄利用の魅力の向上を図る。

ウ 新技術の積極的な活用 2,420 千円

福岡市実証実験フルサポート事業を活用した「クレジットカードの非接触決済機能を活用した鉄道改札通過に関する実証プロジェクト」により、お客様の利便性・快適性等に資する新たな技術の活用に取り組む。

エ 人材確保と育成 21,028 千円

交通局人材育成プランを改定し、職員一人ひとりがその果たすべき役割と能力を自覚し、多様なお客様ニーズに的確に対応できる人材を育成するとともに、引き続き技術関係職員における技術力の継承・向上や運輸関係職員の計画的な採用を図る。

(単位：千円)

区分	令和5年度	令和4年度	比較増減	備考
ア 経営改革の推進	320	181	139	
経営戦略の再構築	320	181	139	福岡市地下鉄経営戦略懇話会開催経費
イ 戦略的な営業施策の推進	23,582	44,303	△ 20,721	
マーケティングに基づく営業戦略	23,582	44,303	△ 20,721	マーケティングに基づいた戦略的な営業施策等
ウ 新技術の積極的な活用	2,420	388	2,032	
キャッシュレス決済手段の拡充	2,420	388	2,032	タッチ決済乗車実証実験の拡充
エ 人材確保と育成	21,028	19,126	1,902	
安全・安心を支える人材の育成	21,028	19,126	1,902	基本研修、派遣研修、資格取得支援等
合計	47,350	63,998	△ 16,648	